

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表：2024年 2月 29日

事業所名：そらいろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・広いプレイルームで身体を動かして遊ぶことができる人数である。	
	2 職員の配置数は適切であるか		○	・必要な支援に応じた人数配置となっている。	・職員の休みが多かったので、職員間でもコミュニケーションをとり、メンタルケアをしたい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・遊ぶ所、トイレなどの導線が分かりやすい。 ・多くの物を設置せず、全員が使いやすいように必要に応じてステップを設置している。 ・本人に分かりやすく、「見える化」をした環境づくりをしている。 ・分かりやすいようにしている。	・子どもによっては、もう少し細かくできたらいいかなと思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・掃除・空気清浄機の設置で清潔に、広い床にじゅうたんを敷き、活動しやすい空間である。	・清掃の頻度が少なくなってきたので、ルーティンを決めて対応したい。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・打ち合わせや反省の時間を大切にしている。 ・活動終了後に気づきや改善点を出し合い、共有している。 ・活動前後に必ず全職員で打ち合わせと反省を行っている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・細かく連携をとっている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページの更新が間に合っていないので、更新時期を決めて取り組んでいきたい。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・今後やる予定。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・職員会議や活動終了時に研修を行っている。 ・職員会議内に研修のコーナーを設けている。	
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・3～4か月ペースで保護者との面談を行っている。 ・聞き取り、面談等で子供と保護者からの声を聞き、計画作成に活用している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・その子の短期・長期目標をいつでも確認できるようにすると、尚良い。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・行っているが、時間が短いので、時間を確保できるようにする。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・職員で話し合って決めている。 ・季節に応じた活動プログラムを作成している。 ・話し合って決めている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの状況に応じて、活動を考えるよう工夫されている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎日支援開始前に打ち合わせをし、より有意義な活動になるようにしている。 ・必ず打ち合わせを行っている。	・打ち合わせの時間をもう少し長くとりたいが、難しいところだと思う。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後反省会を行い、意見を出し合い、改善に努めている。 ・毎回反省会をして話し合っている。 ・毎回反省会をしている。 ・しっかりと時間をとって共有ができています。 ・必ず打ち合わせを行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・気になったこと、活動内容等記録をとっている。	・見直す機会を増やしていきたい。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・頻度が少ないが、職員が活動を外から見ると時間がとれた。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				※医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもが在籍していない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				※医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもが在籍していない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・関係する機関との情報共有を大切にしていると感じる。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・関係する機関との情報共有を大切にしていると感じる。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・機会を設ける。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		
保護者への説明責任等	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・日々連絡帳や電話・メールでのやりとりを大切にしている。 ・連絡帳や様々な方法でコミュニケーションをとっている。 ・連絡帳でやりとりをしている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・取り組んでほしいことを伝えている。	
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・3～4か月に1回面談を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・父母の会がない。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・外に持ち出すことのないようにしている。 ・書類の保管もしっかりとし、職員も守秘義務の意識がある。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・委員会を設置し、避難訓練を行っている。	・委員会の実施回数を増やさなければならない。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年に2回避難訓練を行っている。	・その内容や様子を保護者にもっと周知していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ミーティング時に必ず確認している。 ・職員会議等の際に出し合うようにしている。	・事例を踏まえて、今後に生かせるようにする。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・研修会に数回参加した。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）